

館内案内

新館

- 1F 受付・ホール・シアターコーナー
- 2F 常設展示室・ジョン万次郎展示室・企画展示室

本館

- 2F 体験型展示「幕末広場」「海の見える・ぎやらりい」
- 1F ミュージアムショップ
- B1F 「図書コーナー」の他、土佐藩船「夕顔」の模型などの展示
- B2F 「幕末写真館」



1F ミュージアムショップ

B1F 土佐藩船「夕顔」



2F 龍馬が暗殺された近江屋八畳間の復元



海洋堂による当館オリジナルの龍馬フィギュア(本館2F)



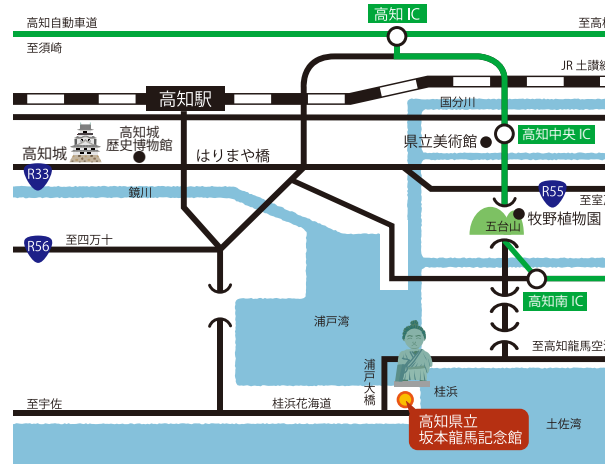
B2F 幕末写真館

利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時(最終入館 午後4時30分)
- 休館日 年中無休
- 入館料 一般(18才以上) 企画展開催期間 700円  
展示替期間 500円  
団体(20名以上) 企画展開催期間 560円  
展示替期間 400円
- 高校生以下無料  
高知県または高知市の長寿者手帳所持者は無料

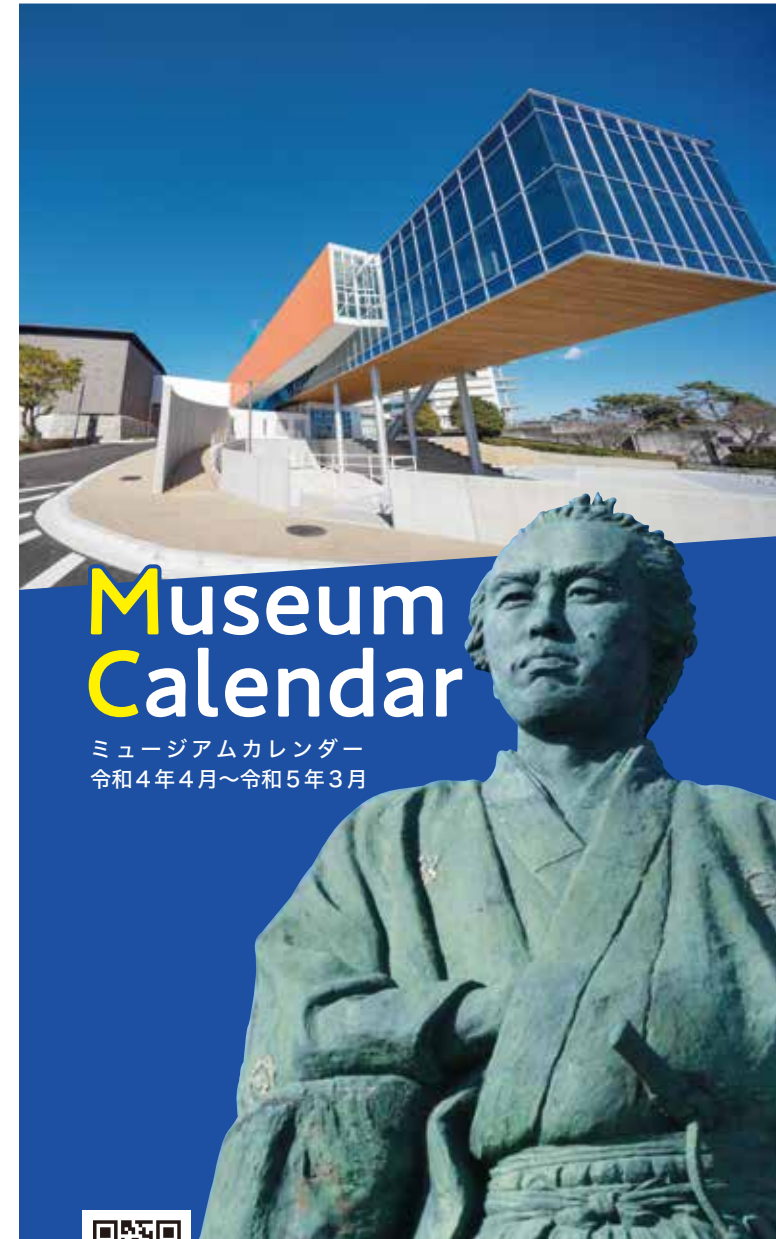
- ◆常設展示室は環境整備のため閉室することがあります。
- ◆以下の手帳をお持ちの方(ご本人様)と介護の方1名は無料となります。  
・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳  
・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳
- ◆バリアフリーのご案内  
・多目的トイレ(新館・本館 各1つ)  
・車椅子、ベビーカー(貸出/新館受付でお申し出ください)  
・授乳室、救護室(本館・地下1階)

アクセス



- 路線バス とさでん交通バスまたはMY遊バス「桂浜」行「龍馬記念館前」下車徒歩2分
- 車 JR高知駅から約30分、高知龍馬空港から約25分、高知自動車道「高知南IC」から約15分
- 駐車場 普通車42台(うち障害者専用駐車場2台)バス4台  
※バスでのご来館予定の方は、事前にご予約をお願いします

 **高知県立坂本龍馬記念館**  
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum  
公益財団法人高知県文化財団  
〒781-0262 高知県高知市浦戸城山830  
TEL 088-841-0001 FAX 088-841-0015  
mail ryoma@ryoma-kinenkan.jp  
ホームページ <https://ryoma-kinenkan.jp/>



Museum Calendar

ミュージアムカレンダー  
令和4年4月～令和5年3月



🔍 坂本龍馬記念館 検索

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止や変更をする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

# 企画展

●様々な切り口で坂本龍馬や幕末史に迫る企画展・特別展を年4回開催いたします。

●会期中には記念講演会や学芸員による展示解説の他、当館公式SNS (YouTube, facebook, Instagram) で解説や資料紹介などを公開いたします(随時更新)。

●記念講演会の申込についてはチラシ・ホームページ等でご確認ください。

## 特別展

### 「龍馬と北の大地」第2部 「北海道で“龍馬”生きる— —チョコウさん再び」

4月3日(日)まで開催中

### 「龍馬脱藩160年 維新へつながる土佐の道」展

4月16日(土)~6月25日(土)

- 記念講演会/「龍馬脱藩への道」  
講師:高山嘉明(当館学芸員)  
日時:6月4日(土)
- 学芸員による展示解説/5月14日(土)14:00~

令和4(2022)年は、龍馬が脱藩を果たした文久2(1862)年から数えて160年目にあたります。龍馬が脱藩することになった経緯や背景について、龍馬と藩外の志士との交流を軸に探ります。また、土佐藩の道にも注目し、藩主が土佐と江戸を往復した参勤交代、そして庶民の四国遍路の旅について紹介します。



龍馬の藩外への旅立ちを「坂竜飛騰」と表現した樋口真吉の日記「遣巻録」(四万十市教育委員会所蔵)

### 「龍馬が七歳だったころ —天保期の土佐の社会とくらし—」展

7月9日(土)~10月19日(水)

- 記念講演会(演題・講師・日程未定)
- 学芸員による展示解説  
7月16日(土)14:00~・9月11日(日)11:00~

天保6(1835)年生まれ龍馬が数え7才の年は、天保12(1841)年にあたります。龍馬の幼少時代の土佐や日本がどのような状況にあったかについて、同時代の資料を用いて読み解き、紹介します。



のりぞめ 取初「土佐年中行事図絵」(高知県立図書館所蔵)より

### 「龍馬最後の帰郷 —坂本家と川島家・中城家—」展

11月1日(火)~令和5年1月25日(水)

- 記念講演会(演題・講師・日程未定)
- 学芸員による展示解説  
11月26日(土)11:00~・令和5年1月14日(土)14:00~

暗殺2か月前に故郷へ帰ってきた龍馬は、休息のために種崎の大廻船御船頭・中城家へ立ち寄りしました。種崎の中城家と川島家は、龍馬が少年期から訪れていた家で、両家から船や世界のことを教わり、憧れを抱いたのです。本展では、龍馬の人生に大きな影響を与えた中城家と川島家との繋がりを紹介します。



龍馬は子どもの頃に見た地図で世界への憧れを持った「新製輿地全図」(当館蔵)

## 特別展

### 「龍馬の師—勝海舟生誕二百年」展

2月16日(木)~4月16日(日)

- 記念講演会(演題・講師・日程未定)
- 学芸員による展示解説/3月開催予定

脱藩後の龍馬は勝海舟と出会い、師と仰ぎました。龍馬は、家族に宛てて「日本第一の人物勝麟太郎殿の弟子」「天下無二の軍学者勝麟太郎という大先生の門人」になったと報告。その様子は喜びにあふれています。幕臣でありながら諸国浪人らと交わり、日本のために動いた勝と龍馬の関わりを中心に、勝の「人となり」や考え方や行動などを探ります。



龍馬の師である勝海舟の肖像写真(大田区立勝海舟記念館所蔵)

## 常設展示室 「坂本龍馬の生涯と幕末」



常設展示室・全景

※展示室の環境整備のため閉室します。

6月10日(金)~6月17日(金)、令和5年1月16日(月)~1月23日(月)



龍馬が持っていたものと同型のピストル「スマイス&ウェッソンII型」(実物)

龍馬の生涯と活躍、そして幕末史の意義深さを、手紙を中心に様々な資料を通して紹介しています。



公文菊圃による三志士の肖像画など(左から坂本龍馬像、中岡慎太郎像、武市半平太が描いた「竹園」、武市半平太像)

## ジョン万次郎展示室



漂流後アメリカ捕鯨船員となり、西洋文化や英語を体得し、自力で帰国した、我が国初のグローバル人材「ジョン万次郎(中濱万次郎)」に関する資料を展示しています。

## 本館 海の見える・ぎやらしい



本館2階「海の見える・ぎやらしい」では、龍馬や企画展に関連するパネルや写真の展示や、作品などの展示を行います。窓からは太平洋の眺望も楽しめます。

## 常設展示室・音声ガイドのご案内



お客様ご自身のスマートフォンやタブレット端末で、常設展示の解説をお聞きいただけます。日本語の他、英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語・タイ語の解説を聞く、または読むことができます。(詳細はお問合せください。)

## Event

※内容詳細は、各イベントのチラシやホームページでご確認ください。開催日の約1~2ヶ月前に配布、更新いたします。

## 連続講演会

- 日 時 6、8、10、12、2月の各月1回
- 場 所 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール
- 定 員 50名(要事前申込・先着順)

★各回ごとに開催月の前月1日(9時)から受け付けます。(例:6月開催の講演会⇒5月1日から申込開始・受付)

※1年間分をまとめて申込することはできません。

★館内別会場での「同時配信聴講」「講演(録音)Youtube配信(講演会終了後、期間限定)」を行う場合もあります。

## 夏休み とさっこ幕末ツアー

- 日 時 7月31日(日)  
9時頃集合・16時頃解散(予定)
- 定 員 20名程度(親子10組程度)
- 対 象 小学校4年生以上~中学生
- 申込み 6月下旬から申込受付(予定)

坂本龍馬や幕末維新をテーマに、関連する県内の史跡や博物館をバスで巡ります。職員が同行いたしますので、お子さま一人でもご参加いただけます。



昨年度の様子

## 夏休み りょうま工作教室

- 日 時 8月7日(日)  
午前:小学1~3年生向け  
午後:小学4~6年生向け
- 場 所 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール
- 定 員 各回10~15名程度
- 申込み 7月上旬から申込受付(予定)

歴史や龍馬への関心を深める工作教室を開催します。



## ウォーキングイベント・史跡巡り

- 日 時 12月4日(日)
- 定 員 15名程度(事前申込・先着順)
- 参加費 500円程度(保険代等)
- 申込み 11月初旬から申込受付(予定)

県内の史跡をゆっくり歩きながら見学し、新たな発見や学びを楽しんでいただく、歴史ウォーキングイベントです。(場所未定)



昨年の様子

## 龍馬記念館 無料開館日 11月15日(火)

龍馬の誕生日、そして当館の開館記念日である11月15日を無料開館日といたします。どなたさまも無料でご入館いただけます。